

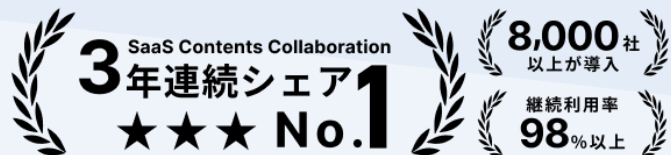
法人向け国産クラウドストレージ「セキュアSAMBA」

課題別事例集

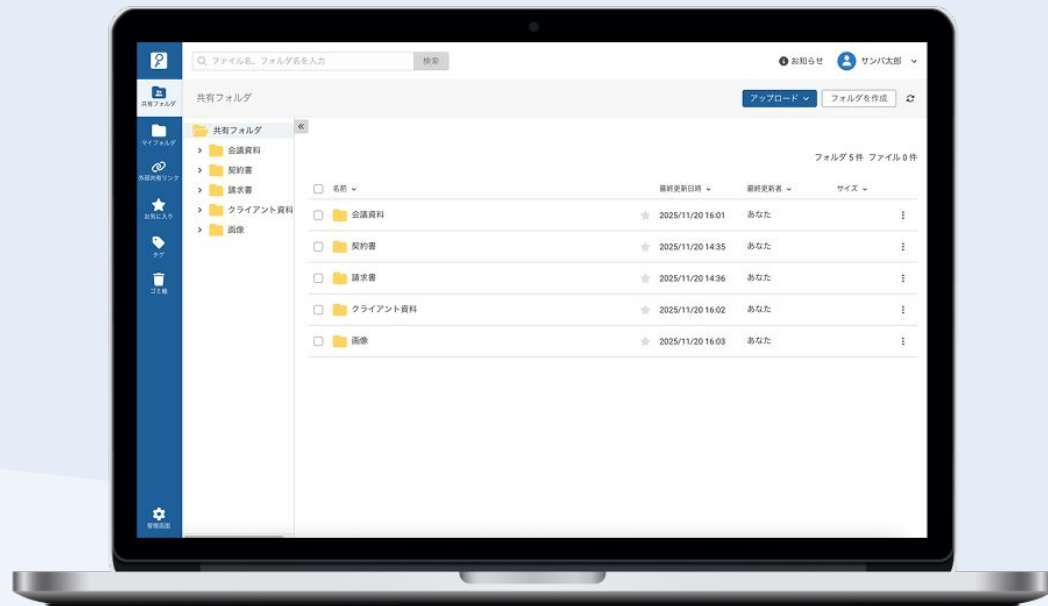
法人向け 国産クラウドストレージ



セキュア
SAMBA



※出典: ITR「ITR Market View: コラボレーション市場2020」SaaS型コンテンツ
・コラボレーション市場-従業員100人未満: ベンダー別売上金額推移およびシェア
(2018~2020年度予測)



課題・業態別目次

01 大容量ファイル共有/脱PPAP

株式会社トーヨーホールディングス 設計・建設・不動産業	04
株式会社シー・ツー・エム 情報・通信サービス	05
株式会社エスコ 設計・建設・不動産業	06
株式会社J建築検査センター 設計・建設・不動産業	07
株式会社ビジネス・レスキュー 情報・通信サービス	08
株式会社フジテクノス 情報・通信サービス	09
Rejet株式会社 情報・通信サービス	10
G5パートナー株式会社 土業	11
税理士法人広瀬 土業	12
大阪府 府民文化部 私学・大学課 公共団体	13
京都光華女子大学 教育・非営利	14
クラウドサーカス株式会社 メディア (web)	15
株式会社名鉄百貨店 サービス業 (その他)	16

02 テレワーク・外出先アクセス

株式会社シー・ツー・エム 情報・通信サービス	18
G5パートナー株式会社 土業	19
法村社会保険労務士事務所 土業	20
株式会社みんかぶ メディア	21
株式会社チーム・チャンネル サービス業	22

03 属人化解消・社内一元管理

株式会社J建築検査センター 設計・建設・不動産業	24
株式会社ジャイアント 製造業	25
株式会社シー・ツー・エム 情報・通信サービス	26
株式会社フジテクノス 情報・通信サービス	27
エスタイム社会保険労務士法人 土業	28
G5パートナー株式会社 土業	29
税理士法人m2ac 土業	30
法村社会保険労務士事務所 土業	31
株式会社みんかぶ メディア	32
クラウドサーカス株式会社 メディア (web)	33
株式会社チーム・チャンネル サービス業	34
株式会社名鉄百貨店 サービス業 (その他)	35

04 BCP対策/セキュリティ強化

株式会社トーヨーホールディングス 設計・建設・不動産業	37
株式会社ジャイアント 製造業	38
株式会社シー・ツー・エム 情報・通信サービス	39
株式会社ビジネス・レスキュー 情報・通信サービス	40
Rejet株式会社 情報・通信サービス	41
エスタイム社会保険労務士法人 土業	42
税理士法人広瀬 土業	43
税理士法人m2ac 土業	44
京都光華女子大学 教育・非営利	45
株式会社みんかぶ メディア	46

事例 01

大容量ファイルの共有や脱PPAP

課題

メール添付や無料ファイル転送サービスによるデータ共有が常態化し、セキュリティに不安があった。



効果

無料転送サービスの利用が減少し、安全な大容量ファイルのやり取りとログ管理体制が確立された。

現場をつなぐ、安全なデータ共有へ。



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

データのやり取りにメール添付や無料のファイル転送サービスを利用していたことが大きな課題でした。データが重くてメール画面が見られなくなるなど、業務に支障が出ることもありました。

Q. セキュアSAMBAを検討したきっかけを教えてください。

外出している工事部の人と大容量のデータを共有する際、使い勝手がいいものを探していました。また、現場監督と業者の方が図面をやり取りする際、これまで印刷したものを手渡しで共有していたので、その手間を省きたいという期待もありました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

当初の課題だったメールへのデータ添付や、無料のファイル転送サービスを使う人が減りました。特に外部の無料ファイル転送サービスで情報漏洩事件が起きて以降は、全社で危機感を持ち、セキュアSAMBAへの移行が一気に進みました。



専門家の解説

無料のファイル転送サービスやメール添付による大容量データのやり取りは、業務効率を下げるだけでなく、会社が把握できないシャドーITリスクの最大の原因となります。同社が全従業員に正規アカウントを発行して安全なルートでの共有を徹底したことで、図面手渡しによる物理的な手間と情報漏洩リスクの双方を完全に排除できた点は非常に模範的です。



課題

派遣先での勤務やテレワークを行う社員とのファイル共有がメールベースとなっており、非効率だった。



効果

クラウド移行によりファイル共有が完結し、テレワーク社員とのやり取り工数が大幅に削減された。

テレワーク社員の効率が大幅UP



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

弊社は派遣先で業務を実施していたり、テレワークをしている要員もいます。そのようなメンバー間のファイル共有は、どうしてもメールベースでやり取りせざるを得なかったため、毎回ファイルにパスワードをかける手間が発生していました。

Q. クラウドへの移行を検討した背景は何ですか。

オフィスの移転を機に、オンプレミスサーバーからクラウドへ移行することが決まりました。よりセキュアなファイル共有や管理ができるクラウドツールを検討する必要がありました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

自社オフィスへの出勤頻度が少ない社員とのファイル共有がすべてクラウド内で完結したことで、やり取りの工数が大幅に削減されました。



専門家の解説

派遣先やテレワーク先など、多様な場所で働くメンバーとのファイル共有をメールに依存することは、業務のボトルネックになります。オンプレミスサーバーからクラウドへ移行し、場所を問わずアクセスできる環境を構築することで、出勤頻度の少ない社員ともシームレスな連携が可能となり、組織全体の生産性が大きく向上します。

課題

工事施工業者との現場写真のやり取りにおいて、メールでは容量制限やファイル破損が発生していた。

**効果**

汎用性の高いクラウドサービスにより、大容量ファイルも社内外でスムーズに共有できるようになった。

他社との大容量ファイル共有環境を構築



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

他社と容量の大きいファイルのやり取りがうまくいかず、不便を感じていました。業務上、工事施工業者さんと現場写真のやり取りをメールで行う場合が多かったのですが、容量が大きいと送受信が失敗したり、ファイルが破損してしまったりする問題が発生していました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

運用の負担が少なく、社内外での大容量データの共有にとっても便利です。ユーザビリティが高いため社員も使いやすく、他社との情報交換以外に社内での情報共有にも活用しており、非常に汎用性が高いと感じています。



専門家の解説

建設業界において、現場写真や図面などの大容量データをメールで送受信することは、ファイル破損やネットワーク圧迫の大きな要因となります。自社の運用負担を抑えつつ、協力業者ともシームレスにファイルを共有できる環境を構築したことで、日々のデータが送れないというストレスから解放され、本来の業務スピードが劇的に向上しています。

課題

メールで送れない大容量の建築現場写真や図面データを、直接顧客へ持参しており非効率だった。



効果

環境に依存せず早く安全にデータ共有ができるようになり、外部とのやり取りの手間が半減した。

環境依存なしでデータ共有が可能に



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

お客様と建築現場の写真や図面などの大容量データを個々に共有する際、メールで送れない重いデータは直接持参をしていました。とても面倒ですし、業務として非効率であると感じていました。

Q. 導入の決め手は何でしたか。

これまでは外部とのデータ共有に時間や工数、手間がかかっていましたが、環境に依存せず早く安全に利用できるクラウドの仕組みはとても魅力的でした。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

大容量データの受け渡しにかかるストレスが軽減され、データ管理がとても楽になりました。最終的には、データのやり取りや検索に掛けていた無駄な手間を半減することができました。



専門家の解説

メールの容量制限を理由に、わざわざ物理媒体を持参してデータ共有を行うことは、担当者の移動時間という見えない莫大なコストを消費します。クラウドストレージによる共有リンクや機能等を活用すれば、どれほど大容量の図面や写真データであっても瞬時に相手に届けることが可能になり、企業の生産性向上に直結します。

課題

取引先へ大容量データを送る際、無料ファイル共有サービスを使用しておりセキュリティに懸念があった。

効果

無料サービスの利用とパスワード付きZIPの送信を廃止し、セキュアなオンライン共有を実現した。

現場をつなぐ、安全なデータ共有へ。



Q. 取引先とのファイルのやり取りはどのように変化しましたか。

これまではお客様に提案する際、メール添付で資料を送っていました。データが大きいときは無料ファイル共有サービスで送ることもありましたが、無料の転送サービスはセキュリティや管理部分に不安がありました。導入後は大容量のデータ共有がセキュアSAMBAで実現できるため、不安がなくなりました。

Q. 共有機能の使い勝手はいかがですか。

セキュアSAMBAにはダウンロードリンク機能があり、有効期限も先まで設定でき、ダウンロードの許可回数も制限できます。また、パスワードの自動生成やリンクの管理など、細かい部分まで使い勝手が配慮されているため、非常に安全かつ便利にファイル共有ができています。



専門家の解説

無料のファイル転送サービスは手軽な反面、運営元のセキュリティポリシーが不透明であり、企業の大切なデータを預けるにはリスクが高すぎます。ビジネス水準のクラウドストレージに標準搭載されているダウンロードリンク機能を用いることで、大容量データの送受信問題をクリアしつつ、有効期限やパスワードによる確実なアクセス制御を効かせることが可能になります。

課題

不動産鑑定に必要な多数の重要書類を都度集めて鑑定会社へ送付する作業に、膨大な手間と時間がかかっていた。

効果

関係者がクラウド上のデータを直接閲覧するフローに変わり、資料送付の手間がゼロになり大幅な時間短縮を実現した。

書類送付の手間ゼロに

Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

不動産鑑定に必要な書類を半年に1回、一つにまとめて鑑定会社に使っていたのですが、それがすごく大変でした。例えば100物件あれば100物件分の書類を集めて送るという作業をするため、相当な時間がかかっていました。

Q. 導入の決め手は何でしたか。

ポイントの一つは閲覧限定の設定ができたことです。見ることは許可しつつ、変更はできないようにする設定が絶対条件でした。

Q. クラウド化の成果はいかがですか。

必要なデータをクラウド上に格納し、ここに見に来てと指示するだけで済むようになったため、大幅な時間短縮が可能になりました。セキュリティを確保しながら関係者が簡単に閲覧できるようになった効果は大きいです。



専門家の解説

自社でデータを集め、圧縮し、相手に送付するという従来のアナログなフローは、扱う物件やデータ量が増えるほど業務を圧迫します。システム上にセキュアな閲覧専用フォルダを設け、送るのではなく見に来てもらうというプル型のデータ共有プロセスを転換した同社の取り組みは、大容量データを取り扱うあらゆるBtoB企業が目指すべき理想の姿です。

課題

コンテンツ制作という業務柄、大容量データのやり取りが社内外で頻繁に発生していた。

効果

ダウンロードリンク機能を活用し、安全かつ簡単な操作で外部とのデータ共有を実現した。

外部とのデータ共有がリンク一つで容易に



Q. 導入後の効果や感想をお聞かせください。

コンテンツ制作という仕事柄、社内外で重いデータを共有することも多く、セキュアSAMBAのダウンロードリンクという機能をよく利用しています。この機能は、セキュリティが高い上に操作も簡単なので、とても重宝しています。

Q. 操作性についてはいかがですか。

セキュアSAMBAはサポート体制が完備されているので、ITが苦手な社内メンバーでもとても安心して利用ができています。格安での定額料金設定で、いくら使っても月額定額制な点も魅力的だと感じています。



専門家の解説

クリエイティブ業界やコンテンツ制作現場において、大容量データの送受信は日常的な課題です。従量課金制のサービスではデータのやり取りが増えるたびにコストが跳ね上がりますが、定額制で容量を気にせずセキュアなダウンロードリンクを無制限に発行できる環境は、クリエイターの制約を取り払い、業務を加速させるインフラとなります。

課題

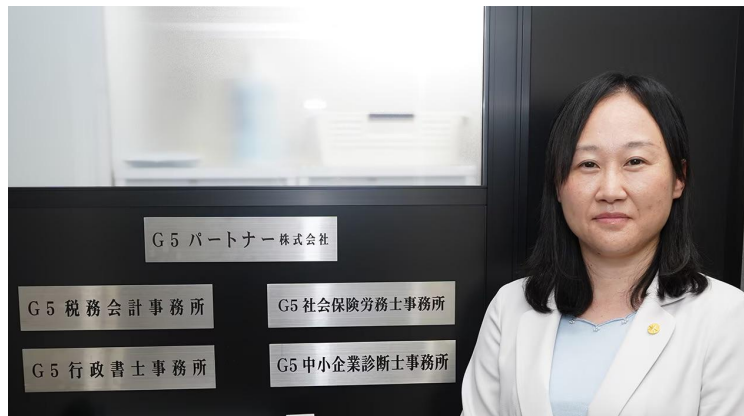
顧問先と月次データをZIPファイル化してメールで送受信しており、双方に展開や整理の手間がかかっていた。



効果

共有フォルダに直接データを格納する運用に変更し、メールのやり取りや整理の手間が劇的に削減された。

顧問先とフォルダ共有でやり取り時間削減



Q. 導入前はどのようにデータを共有されていましたか。

従来は、月ごとのデータをメールで一斉添付して送ってもらっていました。顧問先側もすべての書類が揃ってからZIPに直して送る必要があり、受け取り側もメールで受領したものを一度展開させて、PCのフォルダに自身で整理して入れないといけなかったため、お互いに非常に手間でした。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

月次データをメールでやり取りしていた顧問先とは、フォルダ内での共有に切り替えました。各顧問先のフォルダを見に行くだけでよくなり、とても楽になりました。大容量の決算書一式などを送る際はダウンロードリンクも使用しています。

Q. コストや時間の削減は実感されていますか。

月メールのやり取りをする時間が減少したのが最も大きいです。メールで受け取って個人PCで整理する手間がなくなり、お互いに出向かずともセキュアSAMBA内でデータの送受信が完結するため、双方で工数の削減ができています。



専門家の解説

士業と顧問先間のデータ連携において、データを集めてZIP化し、メールで送って解凍し、フォルダに仕分けするというプロセスは、互いの生産性を著しく低下させます。クラウド上に共有フォルダという共通の作業デスクを設けることで、メールによる無駄なやり取りをなくし、リアルタイムかつシームレスな協業が可能になります。

課題

マルウェア流行に伴い、パスワード付きZIPファイルの廃止が急務に。メールの容量制限で大容量データも送れなかった。



効果

パスワード付きZIPを廃止し、ダウンロードリンク機能を用いて安全かつ大容量のデータ送信環境を構築した。

ダウンロードリンク運用で安全な環境構築



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

マルウェアが大流行し、顧問先様へ安全にデータを渡す対策が必要でした。Zipファイル付きメールをNGとする相手先が増えていたことや、容量の関係で大容量ファイルが送れないことも課題でした。これまではメール送信後、システムから自動的にパスワードが別送される仕組みを利用していましたが、送信に時間がかかっていました。

Q. パスワード付きZIPの廃止と大容量データの送信は実現できましたか。

大半の顧問先でパスワード付きZIPファイルでのデータ共有を廃止できました。容量の関係でメールではお渡しできなかったデータも、セキュアSAMBAで共有できています。

Q. 共有業務の効率化についてはいかがですか。

セキュアSAMBAからダウンロードリンクとパスワードが自動送信されるため、これまで送信にかかっていた時間を削減できました。郵送していた大容量データも送信できるようになったことで、印刷代や郵送代の削減にもつながっています。



専門家の解説

暗号化されたZIPファイルをメールで送信する運用は、セキュリティソフトのウイルス検知をすり抜けてしまうため、マルウェア攻撃に極めて悪用されやすい手法です。同社のように廃止を経営課題としていち早く捉え、クラウドストレージのセキュアなリンク共有へ切り替えることは、自社だけでなく大切な顧客のシステムを守るための必須の防衛策です。

課題

TPサーバやメールでのやり取りに限界があり、大容量データは郵送や直接の手渡しを行っていた

効果

即時性と安全性を兼ね備えたクラウド共有環境へ移行し、約150校との情報共有の省力化を実現した。

郵送・手渡しからURL共有へ大幅省力化



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

以前はFTPサーバを利用してデータの共有をしていました。業務によっては大容量のデータもあり、電子メールでは添付できる容量が少なく誤送信のリスクもあったため、郵送や直接の受け渡しでやり取りをしていました。

Q. 検討のきっかけと導入の決め手は何でしたか。

変更や更新など何度も往復しなければならないデータが多く、即時性が期待でき、かつ情報共有を省力化できる方法を探していました。アカウント無制限でユーザーが増えた際の拡張性が高い点と、速く確実に安全にという要件を十分満たしている点が決め手となりました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

現在、約150校との情報共有に利用しております。郵送や直接の受け渡しなどの手間を省き、今後も運用状況を見ながら実施範囲の拡大を行っていきたいと考えています。



専門家の解説

公共機関や教育機関とのやり取りにおいて、旧態依然としたFTPサーバの利用や物理媒体による大容量データの授受は、膨大なタイムラグと紛失リスクを生み出します。専門知識がなくても安全に操作でき、多数の関係機関と即時につながるができる直感的なクラウドストレージの導入は、行政や公共サービスのデジタル化を前進させる極めて有効な一手です。

課題

印刷物などの重要データを対面で受け渡しており、日程調整の手間とデータの紛失や漏洩リスクに危機感があった。



効果

アクセス権を細かく設定したクラウド共有に移行し、対面受け渡しや日程調整の手間がゼロになった。

対面受け渡しゼロで大幅な労力削減



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

大学のパンフレットなど公開前情報を含むデータを扱うため、紛失や漏洩を防ぐ目的で必ず対面でデータ共有をしていました。しかし、約30名の担当者と日程調整を行い、直接受け渡しをするためには多大な業務時間が削られており、非効率だと感じていました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

制作チームごとに納品用フォルダを作成し、完成データをそこに格納してもらうフローに変えました。これにより、対面で会う手間やそのための日程調整がなくなり、スムーズに業務が進むようになりました。

Q. セキュリティ面での安心感はいかがですか。

データを物理的に持ち運んだり手で保管する機会がなくなったため、自分がミスをしてデータを紛失してしまうかもしれないと不安に感じるものが少なくなりました。安全で手軽な運用に改善できてよかったです。



専門家の解説

機密性の高い大容量データをメディアなどの物理媒体を用いて対面で受け渡す運用は、担当者の多大な移動時間と調整コストを消費します。アクセス権限が設定されたクラウド空間をデータの受け渡し専用窓口として機能させることで、人為的な紛失リスクを劇的に下げつつ、担当者のコア業務の時間を大幅に創出できる理想的な改善事例です。

課題

Webサイト制作の素材を無料転送サービスでやり取りしており、ファイル破損やメールの埋もれが発生していた。



効果

容量を気にせず安全に顧客と直接ファイルをアップロードし合えるようになり、素材管理が楽になった。

顧客とフォルダ共有で素材管理が楽に



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

これまでロゴや画像のやり取りに無料のファイル転送サービスを利用していましたが、お客様の社内セキュリティ上使えないことがありました。また、使えたとしてもファイルが破損していたり、素材がメールに埋もれて探す手間が発生したりと、スムーズにやり取りできないことが課題でした。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

私もお客様も、ファイルの大きさを気にせずにアップロードできるようになりました。メールを何回も作成して送る必要がないため、お客様からも使いやすく楽になったとおっしゃっていただいています。

Q. データの管理面は改善されましたか。

ディレクターは何件もの案件を同時進行させているため、お客様ごとに専用のフォルダを作成してやり取りしています。このディレクトリ構造が直感が分かりやすく、素材の管理が非常にしやすくなりました。



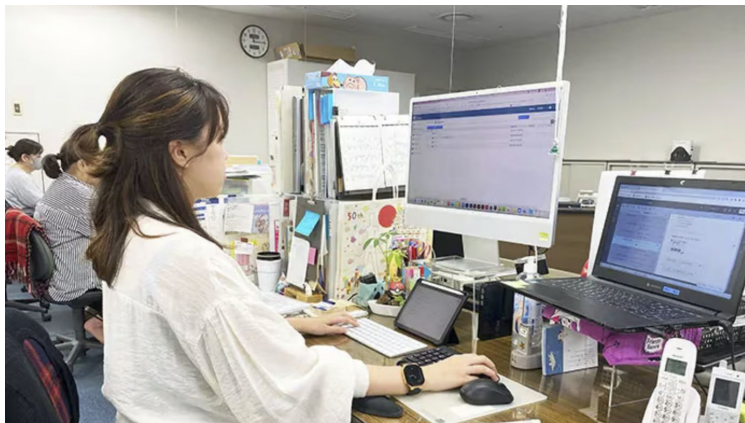
専門家の解説

Web制作の現場では、画像や動画などの大容量素材が五月雨式に送られてくるため、メールや無料転送サービスを使っていると最新の素材がどこにあるか分からないという状態に陥ります。案件ごとや顧客ごとにクラウド上に専用フォルダを設け、双方がそこに直接アップロードするルールを設けることで、素材の散逸を防ぎ、制作進行のスピードを最大化することができます。

課題 100社を超える取引先へカタログデータをメールで送受信しており、手間とメールの埋もれが限界に達していた。

効果 取引先ごとの専用フォルダを構築し、膨大なカタログデータ共有の効率化とメール業務の大幅削減を実現した。

カタログデータ共有の効率化を確率



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

今までは100社以上の企業様に対し、概要ページなどのデータを個別にメール添付して共有していました。1人の担当者が数十社とメールし、さらに社内で転送して確認する工程があったため、非常に時間がかかっており、ミスが起きやすくメールが埋もれてしまう問題が発生していました。

Q. 導入の決め手は何でしたか。

操作に複雑性がなく、PCが苦手なお取引先様にも分かりやすいこと。そして、各アカウントに個別の閲覧制限ができ、他のお取引先のフォルダが見えないように設定できることが大きな決め手でした。

Q. データの管理面は改善されましたか。

短期間で複数のお取引先とカタログデータのやり取りを行う際、膨大なデータの共有が圧倒的に楽になりました。メールを何往復もしたり転送したりする手間が大幅に減り、複数の担当者が指定フォルダを双方で見に行けるようになったため、業務効率化に大きく貢献しています。



専門家の解説

多数の取引先を抱えるビジネスにおいて、大容量データを1社ずつメールで個別送信し、修正データをまたメールで受け取るという運用は、担当者の業務キャパシティを容易に崩壊させます。クラウドストレージを用いて取引先ごとに独立し隔離されたセキュアなフォルダを提供することで、誤送信リスクを完全に排除しつつ、圧倒的な速度でのデータ共有フローを確立することが可能になります。

事例 02

テレワークおよび外出先からのアクセス実現



課題

派遣先での勤務やテレワークを行う社員とのファイル共有がメールベースとなっており、非効率だった。



効果

クラウド移行によりファイル共有が完結し、テレワーク社員とのやり取り工数が大幅に削減された。

テレワーク社員の工数削減



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

弊社は派遣先で業務を実施していたり、テレワークをしている要員もいます。そのようなメンバー間のファイル共有は、どうしてもメールベースでやり取りせざるを得なかったため、毎回ファイルにパスワードをかける手間が発生していました。

Q. クラウドへの移行を検討した背景は何ですか。

オフィスの移転を機に、オンプレミスサーバーからクラウドへ移行することが決まりました。よりセキュアなファイル共有や管理ができるクラウドツールを検討する必要がありました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

自社オフィスへの出勤頻度が少ない社員とのファイル共有がすべてクラウド内で完結したことで、やり取りの工数が大幅に削減されました。



専門家の解説

無料のファイル転送サービスやメール添付による大容量データのやり取りは、業務効率を下げるだけでなく、会社が把握できないシャドーITリスクの最大の原因となります。同社が全従業員に正規アカウントを発行して安全なルートでの共有を徹底したことで、図面手渡しによる物理的な手間と情報漏洩リスクの双方を完全に排除できた点は非常に模範的です。

課題

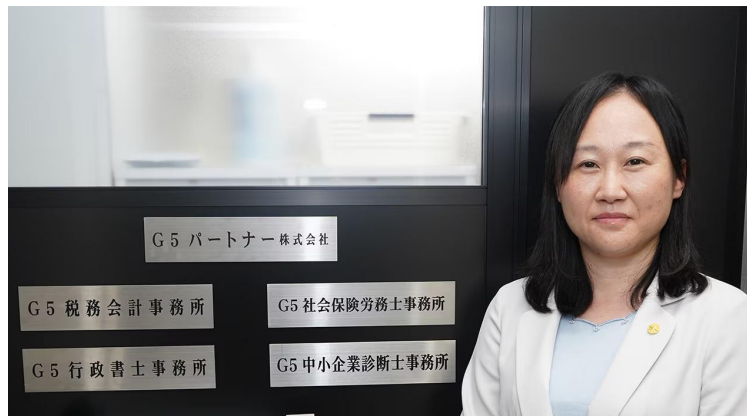
外出先からデータの閲覧ができず、毎度事務所に戻って確認する必要があった。



効果

外出先からのデータ閲覧やリアルタイムでの修正が可能になり、業務負担が軽減された。

外出先からのデータ閲覧で業務負担改善



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

テレワークが始まることから、在宅でも確認できるようになると良いと思っていました。また、外出時にデータの閲覧ができず、事務所に戻って確認する必要があったので何か良い方法がないか探していました。

Q. 以前は外出先でどのようにデータを確認していましたか。

顧問先で作業する際、事務所にあるデータを確認したい場合は事務所のスタッフに連絡してデータを送ってもらっていました。逆に、顧問先に置くべき書類を事務所で確認したい時は持ち帰っていました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

一番の効果は、外出時のデータ閲覧が楽になったことです。顧問先にある経理データと弊社にあるデータの付け合わせが楽になり、その場で修正が可能になったことは業務にとっても役立っています。



専門家の解説

外出先から社内データにアクセスできない環境は、担当者の移動時間や確認待ちの時間を生み出し、大きな機会損失に繋がります。クラウドストレージを導入して場所を問わずリアルタイムにデータを閲覧および修正できる仕組みを整えることで、無駄な帰社やデータ転送の手間を省き、顧客への迅速な対応が可能になります。

課題

紙での書類管理が中心で、在宅勤務者が内勤社員と同じように働ける体制が整備されていなかった。



効果

書類のクラウド共有により、出先からの確認が迅速になり、在宅社員も社内と同じ環境で働けるようになった。

在宅社員も社内環境を実現



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

在宅勤務の社員を採用したのですが、当時は紙での管理だったため、在宅勤務も内勤社員と同じように働ける体制を作ることが急務と感じていました。

Q. クラウドを検討したきっかけは何でしたか。

第一優先は社内共有ができればいいと思っていました。元々別の事務所が使っていたサービスを見ていて、外から使える便利さを知っていました。在宅社員も使えるようにしたかったので、できればクラウドがいいなと考えていました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

出張や出先の打ち合わせでも、これまでは全て紙の書類を持って行っていたのですが、今ではPC画面内でデータを見せながら会話をしています。在宅社員も内勤社員と同じように働ける体制をつくれた点は本当に良かったです。



専門家の解説

紙ベースの管理や社内限定のネットワーク環境は、テレワークや柔軟な働き方を阻害する最大の要因です。書類を電子化してクラウド上で一元管理することで、在宅勤務の社員もオフィスにいるのと同じ感覚で業務を遂行できるようになり、多様な人材の活用と業務効率化を同時に実現できます。

課題

経営管理部の業務拡大に伴い、秘匿性の高いデータを安全に共有できるファイルサーバーが早急に必要だった。

効果

セキュリティの整った環境が構築され、海外出張先からでも本社のデータに安全かつスムーズにアクセスできるようになった。

海外出張時に秘匿性高い社内データを閲覧



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

グローバルに当社グループが拡大しており、経営管理部特有の秘匿性の高いデータをどう管理していこうかという課題がありました。部内でファイルを共有できるサーバが早急に必要でした。

Q. 導入の決め手は何でしたか。

本社が移転をしたのですが、クラウドにサーバがあると実際に動いた時にすぐに使えるというメリットがありました。また、各々のフォルダごとに権限が付けられる設定ができたことも大きいです。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

海外に子会社があるのですが、セキュリティがしっかり整った環境で、海外へ出張している時でも日本の本社とデータの共有が苦もなくできるのが良いですね。ファイルの更新やダウンロードがスムーズになり便利になりました。



専門家の解説

グローバル展開や拠点の拡大において、海外出張先や遠隔地から安全に本社データへアクセスできる環境は必須です。詳細な権限設定が可能なクラウドストレージを利用することで、秘匿性の高い経営データを守りつつ、世界中どこからでもスムーズに業務を継続できる強固なインフラが完成します。

課題

社内サーバーにアクセスしないと資料の共有ができず、在宅勤務や外出先での業務体制が整備不足だった。



効果

スマートフォンやタブレットから外出先でも閲覧可能になり、リモートワークや社外からのデータ共有が円滑に実現した。

外出先でスマホから社内情報が閲覧可能に

Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

リモートワークが始まる前は、社内に置いているサーバーにアクセスをするため出社をしていました。在宅や外出先からは閲覧できないので、必要な書類を出社しているメンバーをお願いをして共有していました。

Q. 導入の決め手は何でしたか。

在宅ワークを実施するための環境を整えないといけないことでした。社内のサーバーにアクセスする環境でないと事業所間での資料共有ができなかったため、何かツールがないか探していました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

社内の書類が全てクラウドにあるので、ファイル管理がとても楽になりました。営業職に関しては、スマートフォンなどのアプリを使用しているため、外出先からの閲覧もできて社内の方に依頼する手間が省けました。



専門家の解説

出社しなければ社内データにアクセスできない旧来のサーバー環境は、リモートワーク推進における最大の障壁となります。マルチデバイスに対応したクラウドストレージへ移行することで、外出先や自宅からでも手元の端末で即座に必要な資料を確認できるようになり、社内へのデータ送信依頼といった無駄なコミュニケーションコストを削減できます。

事例 03

属人化の解消と社内ファイルの一元管理

課題

ITが苦手なメンバーがおり利用ルールが定まっていなかったため、必要なデータを探すのに時間が掛かっていた。



効果

ユーザーごとの利用制限やグループ管理機能により運用が整備され、データを探す手間が半減した。

データを探す手間が半減



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

ファイルサーバの利用ルールが定まっていなかったため、業務に必要なかどうか判別が付かないととりあえずのファイルデータがたくさんありました。そのため、必要なデータを探すのにも時間が掛かり、無駄な業務が多かったと思います。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

グループ管理機能で人事異動の際のユーザー変更作業に対応できたり、ユーザー毎にデータの利用制限が設定できたり、総合的な運用管理の整備につながりました。最終的には、データを探すのに掛けていた手間を半減することができました。



専門家の解説

フォルダの利用ルールが曖昧な状態では、データが散逸し探す手間という見えないコストが増大します。適切な権限設定やグループ管理を用いた一元管理を行うことで、属人化を排除し、誰でもすぐに必要なデータへアクセスできる効率的な組織基盤が完成します。

課題

本社と店舗の情報が混在し、ファイルを間違えて違うフォルダに置くなど管理が煩雑になっていた。



効果

アクセス権限を細かく設定でき、直営店や加盟店で完全に情報を分けて一元管理できるようになった。

使いやすさで全店舗一元管理を実現



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

本社と店舗の情報が混在し、ファイルを間違えて違うフォルダに置いたりしてしまうことがあったため、管理が煩雑になっていました。

Q. 導入の決め手は何でしたか。

操作性とアクセス権限設定によるファイル管理のしやすさです。Windowsエクスプローラーと同じように操作ができる点と、フォルダごとやファイルごとにアクセスできるユーザーを限定する機能が充実している点でした。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

グループ管理機能で人事異動の際のユーザー変更作業に対応できたり、ユーザー毎にデータの利用制限が設定できたり、総合的な運用管理の整備につながりました。最終的には、データを探すのに掛けていた手間を半減することができました。



専門家の解説

複数拠点や関係者が同じ環境を利用する場合、明確なアクセス権限の設定がないと情報が混在し管理が破綻します。使い慣れたエクスプローラーと同じ操作性を持たせつつ、ユーザーごとの権限を切り分けることで、ITリテラシーを問わず確実なデータの一元管理が実現します。



課題

取引先ごとにファイル共有方法が異なり、各自担当者任せのルールだったため管理がかなり煩雑だった。



効果

効果：システム管理部門がマスター権限を持ち、経営層や派遣社員などで階層分けした一元管理体制が構築できた。

権限一元管理。情報の安全運営を実現



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

取引先ごとに指定されるシステムや共有方法が異なり、各自担当者任せのルールだったため管理もかなり煩雑だったことが課題としてありました。

Q. 導入後はどのように権限や階層を分けて一元管理していますか。

システム管理部門が全フォルダを閲覧できるマスター権限を持って管理できるようにしています。次に権限レベルが高い経営層が機密レベルの高い資料を閲覧でき、派遣の方などには業務に使える資料にだけ閲覧できる権限をつけるといった階層分けをしています。



専門家の解説

担当者ごとにデータの管理方法が異なる状態は、業務の属人化とブラックボックス化を招きます。システム管理部門が全社横断的なマスター権限を握り、役職や業務内容に応じた適切な閲覧権限をトップダウンで割り当てることで、ガバナンスの効いた一元管理体制が構築できます。

課題

文書データが複数箇所に分散しており、必要な書類を探して集める業務に相当な時間がかかっていた。



効果

各所に分散していたデータが体系的に整備され、関係者が必要な情報へ簡単にアクセスできるようになった。

現場をつなぐ、安全なデータ共有へ。



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

これまでは必要な書類が毎回異なるため、それを各所から探して集める作業に相当な時間がかかっていました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

クラウド化させたことで、ここに見に来てと指示すれば良いので、大幅な時間短縮が可能になりました。各所に分散していた文書データが体系的に整備され、関係者が簡単に閲覧できるようになったことによる効果は大きいです。



専門家の解説

データが個人のPCや複数のシステムに散在していると、情報収集だけで膨大な業務時間を喪失します。すべての文書データを一つのクラウドストレージに集約し、体系的なフォルダ構造で一元管理することで、データを集める作業そのものをなくすることが可能になります。

課題 個人がデスクトップなどにフォルダを作成して各自管理しており、業務のブラックボックス化が起きていた。



効果 ツリー状のフォルダ構造で顧客ごとのデータが一括保存され、過去データも検索しやすくなり属人化が解消された。

検索機能で過去データもすぐ見つかる



Q. 導入前に抱えていた課題は何でしたか。

重要データや業務のブラックボックス化が課題でした。個人がデスクトップなどにフォルダを作成して各自管理しているという実態がありました。

Q. 導入後の効果や社内での活用方法を教えてください。

クラウド化させたことで、ここに見に来てと指示すれば良いので、大幅な時間短縮が可能になりました。各所に分散していた文書データが体系的に整備され、関係者が簡単に閲覧できるようになったことによる効果は大きいです。

Q. 業務効率は改善されましたか。

紙で管理していた時は手作業で探し出す必要がありましたが、ストレージ内の検索機能を活用すれば過去データから検索して履歴を辿ることができるので、作業がかなり簡略化されました。



専門家の解説

個人のデスクトップでのファイル管理は、担当者不在時に業務が完全にストップするリスクを孕んでいます。顧客別や案件別のツリー状フォルダルールを全社で統一し、強力な検索機能を活用することで、誰でも過去の経緯や最新データにアクセスできる標準化された業務フローが実現します。

課題

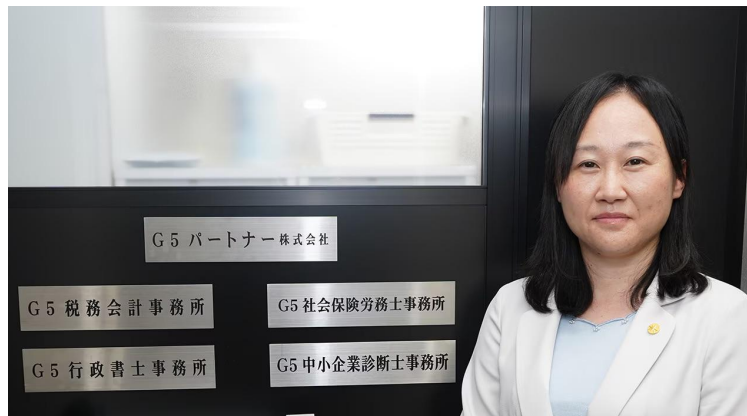
業務担当が分かれている中で、社内でのデータ管理の一元化や整理が必要だった。



効果

業務ごとや年度ごとにフォルダ管理を徹底し、会計と労務で綺麗に分けられた一元管理が可能になった。

会計と労務でデータ管理を明確に



Q. 具体的にどのようなフォルダ構成で一元管理をしていますか。

弊社は業務で会計と労務と担当が分かれているため、フォルダを別で分けています。会計業務では月ごとのフォルダを作成し、労務業務では給与明細表や入社連絡表など業務ごとにフォルダを分けて管理しています。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

年度や月ごとに管理できており、各顧問先のフォルダを見にいくだけでいいのでとても楽になりました。



専門家の解説

部門や担当業務が細分化されている組織では、部署間のデータの垣根を取り払い、全社共通のルールで格納場所を定義することが重要です。月次や年度ごと、業務ごとの明確なディレクトリ構造をクラウド上に設計することで、ファイルを探す迷いなくなり業務が効率化します。



課題

データの所在が各自のローカルPCであり、マスター管理ができず誰が更新したかもわからない属人化状態だった。



効果

所内データがクラウドに集約されて情報の一元化に成功し、どれが最新のマスターデータか一目でわかるようになった。

ファイルを探す手間もなくなり、自社のセキュリティ強化にも繋がりました。



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

データの所在が各自のローカルPCだったため情報の一元化が難しく、マスター管理ができていませんでした。誰がいつどのファイルを更新したのかがわからず属人化しており、必要な書類があれば皆で各PC内を探し回っていました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

所内データの所在が明確になったことでマスターの取り違えの危険性が大幅に減少しました。どのデータがマスターなのかわかるようになったのが一番大きいです。バージョン管理もできるので、誰が最後に使ったのか、誰が何で作ったのか把握できています。



専門家の解説

各自のローカルPCへのデータ保存は、最新版のマスターデータがどれか分からなくなる先祖返りトラブルの温床です。ローカル保存を原則禁止とし、すべてのデータをクラウド上でバージョン管理することで、常に最新かつ正確なファイルのみを組織全体で共有・編集できる強固な一元管理が確立します。

課題

紙の書類をデータにした後も各々のPCに保管しており、社内共有と一元管理ができていなかった。



効果

アナログ時代の分類ルールを受け継いだフォルダ分けと命名規則により、迷うことのない一元管理が定着した。

既存ルールのままクラウド化でスムーズな移行を実現



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

紙の書類をデータにした後に各々のPCに保管していたので、社内共有ができていなかったのが課題でした。

Q. 定着させるための工夫はありましたか。

フォルダ分けはこれまでのアナログ方式を受け継ぎました。また、ファイル名に年別日時を入れて時系列が分かる命名規則で整理するようにしています。いつ実施した手続きかなどがわかると調べやすいからです。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

今では必要な書類が全てセキュアSAMBAにあるので助かっています。以前と比べて過去の書類確認が速くなり、社内共有ができるようになったので業務時間が短縮できました。



専門家の解説

新しいシステムを導入しても、現場が使いこなせなければ一元管理は形骸化します。既存の紙のファイリング手法や慣れ親しんだ分類方法をクラウド上のフォルダ構造にそのまま再現し、ファイル名の命名規則をルール化することで、誰もが直感的にデータを探せる属人化ゼロの環境が実現します。

課題

ファイルサーバはあったがユーザーごとに閲覧制限を持たせられず、各フォルダにパスワードをかけるなど管理が煩雑だった。

効果

各フォルダに細かな権限を設定できるようになり、経営管理部の秘匿性の高いデータを安全に一元管理できるようになった。

秘匿性の高いデータを安全に一元管理



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

今までも共有できるファイルサーバはありましたが、ユーザーごとに閲覧制限を持たせることができず、それぞれのフォルダにパスワードをかけて運用していました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

各々のフォルダごとに権限が付けられるので、経営管理部の中でもその担当しか見られないようにしたり、全員が見られるようにしたり設定できた事が大きいです。今は経営層にも開放して、経営陣だけが見られるフォルダを作成して一元管理しています。



専門家の解説

社内のすべての部署が同じサーバーを利用する場合、フォルダ単位での柔軟なアクセス権限設定機能が不可欠です。役職や部署に応じて見せる情報と隠す情報をクラウド上で正確にコントロールすることで、パスワード管理の煩雑さを排除し、機密データを守り抜く安全な一元管理が可能になります。

課題 画像素材などがメールにどんどん埋もれてしまい、最新の制作データを探す手間が発生していた。



効果 顧客ごとにディレクトリ構造を明確にした専用フォルダを作成し、画像素材の一元管理とスムーズな進行管理が実現した。

日々増える顧客との情報も一元管理



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

メールでのやり取りだと画像がどんどん埋もれてしまい、画像を探す手間が出てくることが課題でした。

Q. データの管理面はどのように工夫されていますか。

ディレクターは常に何件もの案件を同時進行させているので、お客様ごとにフォルダを作成しています。このディレクトリ構造が分かりやすく管理しやすいです。

Q. 管理体制について教えてください。

WEBの制作案件ができるごとに、管理者がフォルダやアカウントの作成をして一元管理しています。



専門家の解説

制作案件が複数同時進行する環境下では、データの格納場所のルール化が進行スピードを直に左右します。案件の立ち上がりと同時に管理者が専用のディレクトリ構造を発行し、全員がそこにアクセスする中央集権的な運用を取り入れることで、ファイル探しの迷いや担当者依存を完全に無くすことができます。

課題

誰がいつどのファイルを作成・保存したか不明で、入退職時のアカウント管理や整理が大変だった。



効果

フォルダの命名規則や一人ずつの容量制限を設け、ログ確認による情報管理で退職者の権限管理も楽になった。

現場をつなぐ、安全なデータ共有へ。



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

サーバーを利用しているときは、どこになんのファイルを誰が作成・保存しているかわからなかったため、一元管理はできていませんでした。ファイルの整備をするときに削除していかかわらず、都度確認が必要でした。

Q. 導入後はどのように管理されていますか。

今は一人ずつデータ量を振り分けています。情報管理として管理者がログを見ることができるので安心して管理できています。また、退職日翌日に個人のアカウントロックなどで閲覧できなくなるように対応できるようになったので楽になりました。

Q. フォルダ運用での工夫はありますか。

フォルダ名の先頭に数字を入れているため、並び替えを簡易に行えるようにしました。



専門家の解説

ファイル作成者が不明な状態は、不要データの滞留や組織のナレッジ損失を引き起こします。各ユーザーに適切な容量や権限を割り当て、アクセスログを可視化することで、誰がどのデータを管理しているかが明白になり、組織改編や入退職時にもスムーズな引き継ぎとアカウント管理が可能となります。

課題

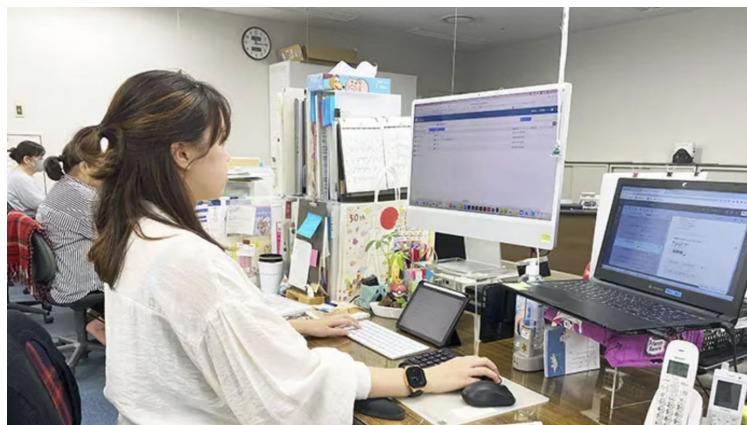
データの送受信が多く、重要なファイルがメールに埋もれてしまい情報が整理できていなかった。



効果

担当者とお取引先で権限を分けてフォルダ管理し、通し番号で順番を整理することで視覚的にもわかりやすくなった。

取引先単位で権限を分け情報共有漏れ回避



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

何名にも情報共有の工程があり、ミスが起きやすくなったりメールが埋もれてしまったりしていました。

Q. 導入後のフォルダ運用の工夫を教えてください。

担当者とお取引先で権限を分けて使用しています。企業のフォルダの順番がバラバラになってしまう為探すのが大変でしたが、フォルダ名の頭に通し番号を振ることで順番がバラバラになる問題が解決できました。

Q. 業務はどのように改善されましたか。

メールが埋もれてしまい探す手間や見落としもなくなり、複数の担当者にメールの転送もせず、指定フォルダを双方で見に行くことができるので本当に助かっています。



専門家の解説

大量の取引先とデータをやり取りする際、メールベースの管理では情報が属人化しチーム内での進捗把握が困難になります。共有フォルダの頭に番号を振るなどの運用ルールを設け、社内外のメンバーが同じ場所にアクセスする仕組みを作ることで、業務状況が可視化され、チーム全体でのスムーズなデータ一元管理が実現します。

事例 04

BCP対策およびセキュリティ強化

課題

メール添付や無料ファイル転送サービスを利用しており、情報システム室としてセキュリティに不安を抱えていた。

効果

外部での情報漏洩事件を機に全社の危機意識が向上し、ログデータ管理による万全のセキュリティ体制が確立できた。

ログ管理で強固なセキュリティ体制構築



Q. 導入前に抱えていた課題や検討のきっかけを教えてください。

無料のファイル転送サービスを利用していたことが大きな課題でした。検討においては、ログデータが取れることが決め手の一つでした。

Q. 導入後のセキュリティに関する効果はいかがですか。

2019年1月に起きた他社の無料ファイル転送サービスの情報漏洩事件以降、社長が従業員へ注意喚起したこともあり、みんなが危機感を持って移行してくれました。定期的にログデータを見て、個人的なファイルを保存している人がいないかチェックしており管理体制もばっちりです。



専門家の解説

システムを導入するだけでなく、いかに運用・監視するかがセキュリティの要です。詳細なログデータをフル活用して定期的な監査を行うことは、内部不正やシャドーITの抑止に直結します。トップダウンによる危機意識の共有とログ監視体制が合致した、強固なガバナンスの成功例です。

課題

社外PCがVPN接続で社内サーバーに入っており、ウイルス感染時の社内ネットワークへの影響が懸念されていた。



効果

クラウド移行でネットワークを分離し、本社・直営店・加盟店でアクセス権限を完全に分けて情報管理がしやすくなった。

VPNリスクを遮断し安全な情報管理体制構築

Q. 導入前に抱えていたセキュリティ面の課題を教えてください。

社内にサーバーを置いていたときは、同じサーバー内に社外の人たちも入って使っていました。VPNによって仮想的に社内のネットワークに繋がった状態になるため、万一、社外PCでウイルス感染したものがあれば社内の環境にも影響が出る懸念がありました。

Q. 導入の決め手や効果はいかがですか。

各社比較した結果、セキュリティがしっかりしている点が決め手でした。アクセス権限を細かく設定でき、各店舗で完全に分けられたので情報管理がしやすくなりました。また、システム自体も障害で落ちることはほとんどないので安心していきます。



専門家の解説

VPNを通じた社内ネットワークへの直接アクセスは、外部端末のマルウェア感染被害を社内全体に拡大させるリスクがあります。堅牢なクラウドストレージをハブとしてネットワークを分離しつつ、細やかな権限管理を行うことで、セキュリティリスクを局所化し被害を防ぐことができます。



課題

オンプレミスサーバーの運用では、災害時などのBCP面での懸念や情報漏洩に対するリスクヘッジが不十分だった。



効果

クラウド移行によりBCP対策の懸念が払拭され、セキュリティレベルの高い資料も安全に管理できるようになった。

BCP対策も万全。安全なデータ管理体制を構築



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

オンプレミスサーバーを設置してデータ管理をおこなっていましたが、BCP面での懸念もありました。また、メールでのファイル授受による情報漏洩のトラブルなども懸念しており、リスクヘッジが不十分であると感じていました。

Q. サービス選定時のポイントと導入後の効果はいかがですか。

弊社の場合は顧客情報の取扱いがあるため、万が一の際にもセキュリティ面である程度担保できるバックアップ仕様も判断材料の一つでした。導入によりBCP対策の懸念が払拭され、情報セキュリティの面でもセキュアにファイル管理できるようになりました。



専門家の解説

物理サーバーを自社内に置くオンプレミス運用は、火災や地震など災害時の事業停止リスク（BCP）が避けられません。強固なバックアップ仕様を備えたクラウド環境へ移行することは、顧客の大切な情報を守り抜き、有事の際にも事業を継続するための必須のセキュリティ対策となります。

課題

自然災害時のBCPが未策定であり、緊急時に自社の事業データがなくなってしまう不安があった。

効果

ローカルPCにデータを置かない運用を徹底し、PCが壊れてもすぐに事業再開できるBCP体制を確立した。

ローカル運用からクラウドでBCP対策も万全



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

自然災害や緊急事態に遭遇した際に、自社の事業データがなくなってしまうと非常に困ります。事業継続や早期復旧などのBCP対策を講じたいと考えていました。

Q. サービス選定時のポイントと導入後の効果はいかがですか。

基本的にPCはシンクライアント化し、すべてのデータをクラウド上にあげています。万が一PCが壊れたり水没したとしても、事業を止めずにそのままPCさえあればすぐに事業を再開できる状態を目指しています。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

バージョン管理機能も上書き保存した日時ごとに10回分も残るので安心です。BCP的にも安心でき、業務が円滑に進んでいます。

専門家の解説



端末にデータを残さない運用（シンクライアント化）と、クラウド上の世代バックアップ機能の組み合わせは、最も強力なBCP対策です。万が一PCが破損したりランサムウェアの被害に遭ったりしても、別のPCからアクセスするだけで即座に過去の正常なデータから業務を復旧できます。

課題

以前のサービスは融通が利かず、ネットワーク環境を兼任で管理していたため対応が追いつかないことがあった。



効果

安定稼働するAWS基盤を定額制で利用でき、完備されたサポート体制により安心してデータ管理できる環境を実現した。

強いサポート体制で安心のデータ管理を実現



Q. セキュアSAMBAの導入の決め手は何でしたか。

クラウド基盤がAWSということが決定打でした。通常AWSの利用料金はアクセス量に応じた従量課金ですが、AWSが基盤であるにもかかわらずいくら使っても月額定額制だったのでとても驚きました。

Q. 導入後の安心感についてはいかがですか。

ネットワーク環境もセキュアSAMBAもサポート体制がそれぞれ完備されているので、ITが苦手なメンバーでもとても安心して利用ができます。



専門家の解説

BCP（事業継続計画）において、利用するシステム基盤自体の安定稼働は絶対条件です。世界最高水準の堅牢性を持つAWS基盤を採用しつつ、有事のアクセス増などによるコスト肥大化を防ぐ定額制のクラウドストレージは、企業の事業継続を根底から支えるインフラとなります。

課題

顧客の個人データを自社の物理サーバーで管理しており、火災などの非常事態時のデータ消失リスクに危機感があった。

効果

クラウド上にバックアップを取る体制へ移行し、物理サーバーの消失リスクをゼロにするBCP対策が完了した。

非常事態時のデータ消失リスクを回避



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

物理サーバーでデータを保管するリスクを感じていました。例えば、事務所が火事にあってデータを消失してしまうなどのBCP対策としての課題感です。いくらPCにバックアップを取っていたとしても、ハードディスクのデータを損失すれば元も子もありません。

Q. サービス選定時のポイントと導入後の効果はいかがですか。

自社サーバーの運用を全部辞めて、クラウド上にバックアップをとっているのだからコスト削減できていると思います。多様な働き方や、BCP対策にオンラインストレージはなくてはならないものと実感しております。



専門家の解説

顧客の重要な個人情報や給与データを預かる士業において、自社内での物理サーバー運用は災害時のデータ完全消失という致命的なリスクを伴います。物理機器を持たず、堅牢なデータセンター（クラウド）へ外部保管することは、確実な事業継続（BCP）の要です。



課題

Emotetの大流行により、顧問先へ安全にデータを渡すための万一のセキュリティ対策が急務だった。

効果

メールへのファイル添付を廃止し、セキュアなクラウド環境から直接ダウンロードさせることでセキュリティ強化に成功した。

マルウェア対策環境を簡単に構築



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

Emotetが大流行し、顧問先様へ安心・安全にデータをお渡しするために何か対策を打たないと、と考えていました。

Q. 選定時のポイントは何でしたか。

セキュリティが高い点と使いやすさ、この2点を重要視しました。UIが分かりやすく弊社職員にも利用できると感じたため導入しました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

大半の顧問先はパスワード付きZIPでのファイル共有の廃止ができました。Emotet対策によるセキュリティ強化につながっており、安心できます。

専門家の解説



マルウェア「Emotet」等は、暗号化されたZIPファイルを隠れ蓑にしてセキュリティチェックをすり抜け感染を広げます。メールでのファイル授受自体を廃止し、クラウド環境のダウンロードリンクへ移行することは、自社と顧客のネットワークを脅威から守る最も有効な防衛策です。



課題

各自のローカルPCでデータを管理していたため、ウイルス感染時の情報流出やPC・USBの紛失リスクがあった。



効果

ローカルでの保存や作業を控える体制を構築し、データ紛失や情報漏洩の危険性を大幅に減少させた。

データを全てクラウド化する体制に



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

元々所内にサーバーがなかったので各自のローカルPCで管理していましたが、ウイルスに感染した際の情報流出や、PCやUSBの紛失のリスクを減らしたいと思っていました。

Q. 導入後の運用ルールや効果はいかがですか。

所内データはセキュアSAMBAを土台として、できるだけローカルで作業や管理をしないようにしています。所内データの所在が明確になったことでデータ紛失の危険性が大幅に減少しました。また、導入してから今まで一度もトラブルがありません。



専門家の解説

ローカルPCやUSBメモリに直接データを保存する運用は、端末の置き忘れやウイルス感染が直ちに致命的な情報漏洩へと直結します。クラウドストレージへの保存を標準化し「ローカルにデータを残さない」ルールを徹底することが、組織の情報資産を守る最高のセキュリティ対策となります。

課題

公開前情報を含む重要データを物理的に持ち運んでおり、紛失や漏洩リスクの高さに危機感があった。

効果

IP制限や細かなアクセス権限設定により、物理的な持ち運びをなくしデータの紛失・漏洩リスクを極小化できた。

IP権限設定により物理紛失リスクを極小化



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

重要なデータを扱うため紛失や漏洩を防ぐ目的で対面で共有していましたが、データの受け渡しや保管の際に紛失してしまうリスクが高いことが気になっていました。

Q. 外部のクラウドサービス利用にセキュリティの懸念はありましたか？

当初は懸念もありましたが、IP制限をはじめとするセキュリティ機能やフォルダごとにアクセス権限を設定できる管理機能が備わっていることで、セキュリティが担保できていると判断しました。

Q. 導入後の効果はいかがですか。

データを持ち運んだり手元で保管する機会がなくなったため、データの紛失や漏洩が発生しづらい運用方法になり、安心しています。



専門家の解説

重要データを物理媒体で持ち運ぶ運用は、ヒューマンエラーによる紛失リスクをゼロにできません。IP制限などの強固なアクセス制御を備えたクラウドストレージにデータを集約することで、物理的な情報漏洩経路を根本から遮断し、確実なセキュリティガバナンスを実現できます。

課題

経営管理部特有の秘匿性の高いデータを安全に管理・共有するための環境構築が急務だった。

効果

厳密な権限設定により、海外出張先からでも秘匿データを安全に閲覧できる強固なセキュリティ環境が実現した。

海外出張からでも秘匿情報を安全に閲覧



Q. 導入前に抱えていた課題を教えてください。

経営管理部特有の秘匿性の高いデータもあり、そういったものをどう管理しているかという課題がありました。今までも共有できるファイルサーバはありましたが、ユーザーごとに閲覧制限を持たせるといったことができませんでした。

Q. 外部のクラウドサービス利用にセキュリティの懸念はありましたか。

各々のフォルダごとに権限が付けられるので、経営管理部の中でもその担当しか見られないように設定できた事が大きいです。海外へ出張している時でも日本の本社とデータの共有が苦もなく出来ますし、今は経営陣だけが見られるフォルダを作成して共有をしています。



専門家の解説

経営に関わる秘匿性の高いデータを扱う部門では、利便性と引き換えにセキュリティを妥協することは許されません。詳細なアクセス権限設定機能を用い、限られたメンバーのみが閲覧・操作できる隔離された環境をクラウド上に構築することで、情報漏洩を未然に防ぐことができます。

コスパと誰でも使える操作性を両立する
法人向け 国産クラウドストレージ
セキュアSAMBA



※出典: ITR 「ITR Market View: コラボレーション市場2020」

SaaS型コンテンツ・コラボレーション市場-従業員100人未満:ベンダー別売上金額推移およびシェア (2018~2020年度予測)

導入企業数 8000社以上、継続率 98%の高評価の理由

セキュアSAMBAは「セキュリティ」「コスト」「操作性」に強みがあります

理由01 :セキュリティ

AWS基盤による 安全なデータ管理



- AWSは米政府やNASAやAmazonなど**数百万の企業が利用**
- 標準搭載のセキュリティ機能でクラウドでも安心してデータ管理

理由02 :コスト

会社が成長してもコストが 急増しないシンプルな料金体系



- ストレージ容量課金のみで、ユーザーが10名でも100名でも**料金は一律**
- 低～大容量プランまで豊富で中小企業でも安心の料金設計！

理由03 :操作性

操作性の高さと導入から 定着までを伴走するサポート



- Windowsエクスプローラーと同じ使い勝手で**特別な研修不要**
- 日本人の専任スタッフが導入から定着まで**伴走するサポート**で安心

エクスプローラーで操作できるので誰でも使いやすい！

セキュアSAMBAは、Windowsエクスプローラーと全く同じ感覚で操作でき、Webブラウザからのアクセスもできるため、

Windowsエクスプローラーでの操作

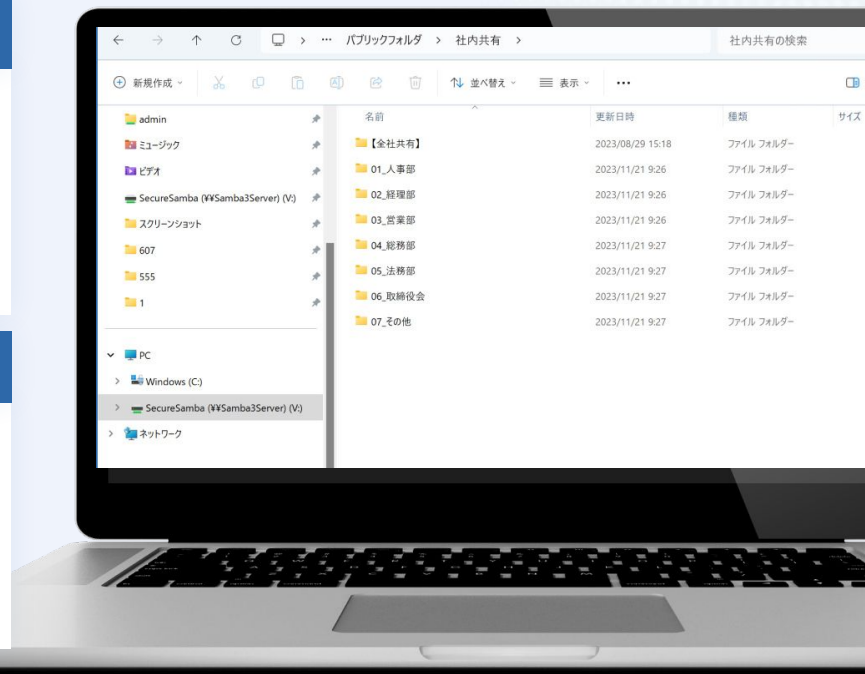


- ドラッグ&ドロップの簡単な操作で
ファイルをアップロード
- ツリー構造のフォルダ管理で
ファイルの保存先がわかりやすい
- 操作に専門知識は不要なので、教育コストも不要

Webブラウザにも対応



- 各ブラウザで利用が可能
- 共有リンクをメールやチャットで送れば
誰でも簡単にファイル共有ができる



セキュアSAMBAの機能一覧

アクセス・ファイル管理

-  **ドライブアプリ** エクスプローラー上で直接編集・上書き保存
-  **Webブラウザ** インストール不要、社外共有も簡単。スマホ表示にも対応
-  **排他制御** 複数名アクセス時は読み取り専用で保護
-  **共有リンク** 大容量データもリンク化して共有
-  **プレビュー** PDF・画像・動画をDLせず閲覧
-  **API連携** APIキーを使ってファイル・フォルダを操作
-  **Chatwork連携** 共有リンク送付・ファイル保存を連携

ユーザー・権限管理

-  **ユーザー管理** 無制限発行・一括作成・3階層の権限種別
-  **グループ管理** 部署・チーム単位、一括登録に対応
-  **アクセス権限** ユーザー・グループ毎にフォルダ権限設定
-  **ログ管理** いつ・誰が・何をしたか無期限で記録
-  **機能制限** ユーザーごとに機能制限を設定可能
-  **権限一覧CSV出力** ファイルごとの権限を一括エクスポート

セキュリティ

-  **暗号化通信** 通信経路・ファイル共にすべて暗号化
-  **グローバルIP制限** アクセス元の場所を制限可能
-  **サブドメイン** 自社指定のサブドメインで利用
-  **アカウントロック** 緊急時にアカウントロックが可能
-  **二要素認証 (2FA)** 認証コードで不正アクセスを防止
-  **SAML認証 / SSO** 外部サービスとのシングルサインオン
-  **ランサムウェア対策** 自動検知・防御機能を搭載

ファイル管理

-  **マイフォルダ** 個人フォルダとしてファイル管理
-  **バージョン管理** 上書き時10世代まで復元可能
-  **ゴミ箱** 1〜360日の間で柔軟に設定

検索・整理

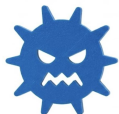
-  **検索** ファイル名・フォルダ名のほか、更新日や拡張子など柔軟に検索
-  **タグ検索** タグ付けによる分類・検索
-  **お気に入り** よく使うファイルをお気に入り登録

セキュアSAMBAのランサムウェア対策

セキュアSAMBAでは、昨今深刻化するランサムウェア攻撃から企業の重要資産を守るため、異常なファイル操作をリアルタイムに検知し、被害の拡散を未然に抑制する「**ランサムウェア自動検知・防御機能**」を搭載しています。

機能1

異常をリアルタイムで検知



短時間のうちに、大量のファイル名変更やファイルの上書き（暗号化の兆候）が発生した場合、システムが「**ランサムウェアによる攻撃の可能性が高い**」と自動で判定します

機能2

ユーザーへの即時通知とアカウントロック



異常を検知した瞬間、**管理者にアラート通知**をおこなうと同時に、該当操作を行っている**アカウントを一時的に自動ロック**します。

機能3

設定のカスタマイズに対応



ユーザー（管理者）側で「**オン/オフ**」の切り替えや、**ロック適用の有無を任意で柔軟に設定変更**できる仕様といたしました。

セキュアSAMBAのセキュリティ - 1

セキュアSAMBAは、AWS（アマゾンウェブサービス）を基盤にデータ管理をしています。アメリカ政府を始め、データは日本国内のデータセンター群で管理され、
されます。さらに、データは国内の複数拠点に自動的にバックアップされ、データセンターでは監視しています。

Point 01

AWS基盤による 安全なデータ管理



- 機密情報も扱う米政府が利用するなど、世界中で数百万社が利用中
- 東京のデータセンター群で管理するため、日本国内の法律で管理できる

Point 02

万が一に備えた 自動バックアップ



- データは自動的に複数の国内データセンターに保存される
- もし1つのデータセンターで問題が起きたとしても、別のデータセンターから復元可能

Point 03

世界トップクラスの 安全性



- データセンターでは24時間体制監視
 - 定期的に第三者の専門機関が安全性をチェック
 - 第三者認証の取得
- ISO/IEC 27001:2022
ISO/IEC 27017:2015
ISO/IEC 27701:2019

セキュアSAMBAのセキュリティ - 2

セキュアSAMBAはこれらの機能を、オプション機能ではなく
ます。

で提供しており、クラウドでも安心してデータを管理することができ

通信とファイルはすべて暗号化



セキュアSAMBAの通信とファイルは
すべて暗号化されています。
WebブラウザからはSSLで暗号化通信。

アカウント管理



緊急時のアカウントロックなど
お客様自身で細かく設定が可能です。

ファイルのアクセスログ取得



ユーザーの各フォルダ、
ファイルに対し、アクセス時ごとに
操作ログを取得します。

サイバー攻撃対策



AWS WAF (Webアプリケーションファイアウォール)を採用し、不正ログインなどの
サイバー攻撃対策を行っています。

セキュアSAMBAは安心のサポート体制をご用意

セキュアSAMBAは導入後も、

、初期設定から運用までをサポートします。

万が一のトラブルの際には手厚いサポート、わかりやすいマニュアルもご用意しているので

です。

日本人専任スタッフが導入から定着までを伴走するサポート



- 日本人専任スタッフが、初期設定から運用までを丁寧にサポートいたします。
- 導入して終わりではなく、社内への定着までを支援いたします。

わかりやすいマニュアルをご用意

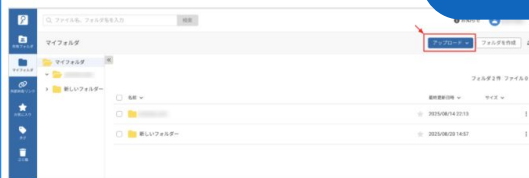


- キャプチャ付きの解説で初めてでもわかりやすく、基本的な操作から高度な機能の利用方法までが網羅。
- 実際に手元で操作しながら疑問を解消することが可能です。

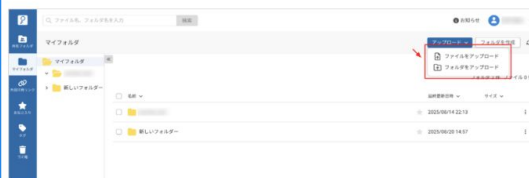
SAMPLE

・「アップロード」ボタンからの操作

1. アップロード先のフォルダを開き、右上の「アップロードボタン」を

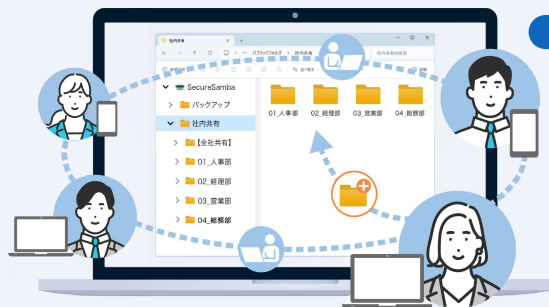


2. 「ファイルアップロード」「フォルダアップロード」いずれかを選択します。



3. アップロードしたいファイル・フォルダを選択してアップロードすれば完了です。





セキュアSAMBAサービスサイト



会社概要

社名	株式会社kubellストレージ kubell storage Co., Ltd.
所在地	〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 WeWork乃木坂
設立	2021年
資本金	5,600万円
代表	中 哲成
資格	届出電気通信事業者
事業内容	オンラインストレージ事業

ご不明点はお気軽にご相談くださいませ。下記ボタンより、打ち合わせのご予約も可能です。



セキュアSAMBA
サービス資料

資料ダウンロードはこちら



フォームからの
お問い合わせ

お問い合わせはこちら



ファイル管理・共有の
お悩み相談はこちら

＼カレンダーから直接選ぶだけ /

今すぐ日程調整はこちら